

科目	金融論	担当	平下 克己	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

株価や為替相場動向、仮想通貨を巡る事件などが連日のようにマスコミで報道され、世間の注目を集める中、「お金」あるいは「金融」に関する基本的理解の必要性が高まっている。本講義では、金融に関する体系的な知識習得を通じて、金融にまつわるニュースが何を意味するのかを正確に理解できることを到達目標とする。

**【履修注意】**

私語、途中退席等、授業の参加態度が不芳な場合、評価の減点対象とするので厳重注意のこと。学籍番号順に座席を常に固定するので注意すること。

**【評価方法】**

期末試験(50%)、中間レポート(25%)、出席状況(25%)で評価する。

**【試験について】**

期末試験のみ実施。期末試験不合格者の追試験は行わない。

再試験対象者の条件： 期末試験を受験し、かつレポートを提出した者のみ

**【予習・復習】**

毎回の授業に対し90分以上の復習をすること。参考図書もしくは金融関連書を1冊以上読破することが望ましい。

**【教科書】**

購入教科書なし

**【参考書】**

書籍名：はじめて学ぶ金融のしくみ	著者：家森信善	出版社：中央経済社
書籍名：現代の金融入門【新版】	著者：池尾和人	出版社：ちくま新書
書籍名：マネーの経済学	著者：日本経済新聞社編	出版社：日経文庫
書籍名：デフレと超円高	著者：岩田規久男	出版社：講談社現代新書
書籍名：コーポレートファイナンス入門	著者：砂川伸幸	出版社：日経文庫

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	イントロダクション	授業の進め方等、金融を学ぶ目的、お金の正しい使い方
2	貨幣はなぜ生まれたか？	貨幣誕生の歴史、貨幣の性質と機能、仮想通貨とは何か
3	利子はなぜ付くのか？	金利の決めり方、自然利子率、時間選好、金利の期間構造
4	金融がなぜ必要とされるのか？	金融と非同時化(時間とリスク)、生活安定とリスク回避
5	銀行は何をしている？	金融機関の存在意義、マッチングとは何か
6	会社とはどんなものか？	株式会社の成り立ち、株式会社の仕組み
7	金融商品の概要	信託、保険(生命保険と損害保険)、金融派生商品(デリバティブ)
8	保険とは？	保険の成り立ち、保険の機能と課題
9	金融と景気変動の関係	景気変動の仕組み、物価変動、インフレ、デフレ
10	信用創造と金融政策	銀行による信用創造、金融政策の仕組み
11	ライフサイクルと金融	ライフサイクルと資金ニーズ、ライフプランシミュレーション
12	資金運用としての金融	証券投資理論、分散投資、投資心理
13	企業と金融(1)	キャッシュフロー、資本コスト、期待収益率、WACC
14	企業と金融(2)	投資の評価、企業価値、最適資本構成
15	国際金融とは	外国為替の仕組み、為替レートの決定要因
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ